



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.7

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社上組 横浜支店南本牧物流センター	階数	地上4F
建設地	横浜市中区南本牧3-10,11	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域	平均居住人員	10 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年3月24日
敷地面積	13,469 m <sup>2</sup>	作成者	梁瀬和人
建築面積	7,906 m <sup>2</sup>	確認日	2020年3月25日
延床面積	27,201 m <sup>2</sup>	確認者	利根川勝則



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 71%

③上記+②以外の 71%

④上記+ 71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

**LR のスコア = 3.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		その他
総合	特に無し	0
Q1 室内環境	評価対象外	Q3 室外環境 (敷地内) 植栽の確保、舗装面積を少なく設置、空地率の確保等により環境に配慮している。また、外観は臨港地区にふさわしい色彩を採用している。
LR1 エネルギー	特に無し	LR3 敷地外環境 燃焼機器の不採用、気象データの把握、高反射材料の採用等により配慮している。
Q2 サービス性能	階高: 6.7~7.4m、壁長さ比率: 0.06、床荷重: 21000N/m <sup>2</sup> を採用している。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材の採用、躯体、仕上材、設備機器等の錯綜を極力排除している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



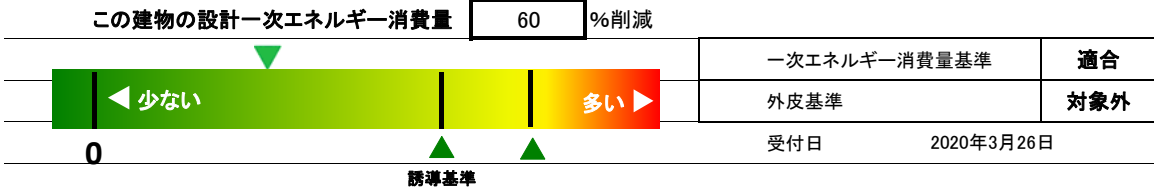
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **株式会社上組 横浜支店南本牧物流センター**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

BEIm:0.4 高効率照明を採用している。

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

耐用年数の長い部材(設備部品)を採用する様配慮している。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— —	



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
株式会社上組 横浜支店南本牧物流センター

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>										
<b>1 音環境</b>										
1.1 騒音										
1.2 遮音										
1		開口部遮音性能								
2		界壁遮音性能								
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0						
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0						
1.3 吸音										
<b>2 温熱環境</b>										
2.1 室温制御										
1		室温		快適・働きやすさ		⑨温熱環境				
2		外皮性能		快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能				
3		ゾーン別制御性		快適・働きやすさ		⑨温熱環境				
2.2 湿度制御				快適・働きやすさ		⑨温熱環境				
2.3 空調方式				快適・働きやすさ		⑨温熱環境				
<b>3 光・視環境</b>										
3.1 昼光利用										
1		昼光率		快適・働きやすさ		⑩光環境				
2		方位別開口		快適・働きやすさ		⑩光環境				
3		昼光利用設備		快適・働きやすさ		⑩光環境				
3.2 グレア対策										
1		昼光制御		快適・働きやすさ		⑩光環境				
3.3 照度				快適・働きやすさ		⑩光環境				
3.4 照明制御				快適・働きやすさ		⑩光環境				
<b>4 空気質環境</b>										
4.1 発生源対策										
1		化学汚染物質		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
4.2 換気										
1		換気量		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
2		自然換気性能		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
3		取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
4.3 運用管理										
1		CO <sub>2</sub> の監視		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
2		喫煙の制御		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
<b>Q2 サービス性能</b>										<b>3.7</b>
<b>1 機能性</b>										
1.1 機能性・使いやすさ										
1		広さ・収納性		快適・働きやすさ		⑫機能性				
2		高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ		⑫機能性				
3		バリアフリー計画		快適・働きやすさ		⑫機能性				
1.2 心理性・快適性										
1		広さ感・景観		快適・働きやすさ		⑫機能性				
2		リフレッシュスペース		快適・働きやすさ		⑫機能性				
3		内装計画		快適・働きやすさ		⑫機能性				
1.3 維持管理										
1		維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ		⑫機能性				
2		維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ		⑫機能性				
<b>2 耐用性・信頼性</b>										
2.1 耐震・免震										
1		耐震性		防災		⑬耐震・免震	3.0	0.50		3.0
2		免震・制振性能		防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数										
1		躯体材料の耐用年数		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20		
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20		
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10		
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10		
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20		
6		主要設備機器の更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20		
2.4 信頼性										
1		空調・換気設備		防災		⑰信頼性	3.0	0.20		
2		給排水・衛生設備		防災		⑰信頼性	3.0	0.20		
3		電気設備		防災		⑰信頼性	3.0	0.20		
4		機械・配管支持方法		防災		⑰信頼性	3.0	0.20		
5		通信・情報設備		防災		⑰信頼性	3.0	0.20		
<b>3 対応性・更新性</b>										
3.1 空間のゆとり										
1		階高のゆとり					5.0	0.30		
2		空間の形状・自由さ					5.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり							5.0	0.30		
3.3 設備の更新性							3.6	0.40		
1		空調配管の更新性					3.0	0.22		
2		給排水管の更新性					3.0	0.22		
3		電気配線の更新性					3.0	0.11		
4		通信配線の更新性					-	-		
5		設備機器の更新性					5.0	0.22		
6		バックアップスペースの確保					4.0	0.22		



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
株式会社上組 横浜支店南本牧物流センター

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.57	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	3.9
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		5.0	0.63	-	-	5.0
4 効率的運用				3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				4.0	0.60	-	-	4.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.13	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				5.0	0.25	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				4.0	0.25	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.13	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮				4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮				3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止				5.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-
2 振動				3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-	-	-
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		1.0	-	-	-	-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-	-
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-